

各位

小野薬品健康保険組合

## 若い世代の女性に増えている子宮頸がん — 検診・ワクチンのサポートを強化します —

定期的な検査やワクチン接種は、がんの早期発見や予防に非常に重要です。健康診断や予防接種の受診を怠らず、定期的な健康チェックを行うことが、皆さんの健康維持につながります。

健保組合では子宮頸がん郵送検診、子宮頸がんワクチンの接種補助を行っていますが、2024年4月1日より下記の通り改訂しますので、是非、ご利用ください。

### 1. 子宮頸がん検診の利用補助を開始

会社が実施する定期健康診断の子宮がん検診を受診できなかった方で、別途、子宮頸がん検診を受診した際の自己負担金に対して補助を開始します。

【対象者】 20歳から34歳までの被保険者および被扶養配偶者

ただし、以下に該当する方は除く

・自治体の実施する子宮頸がん検診を受診し、健保の補助を受けた方

詳細は健保組合ホームページの<がん検診補助・HPV郵送検診>をご参照ください。

クリック⇒



### 2. 子宮頸がん郵送検診をHPV郵送検診に変更

子宮頸がん郵送検診では、「細胞診検査」※と「HPV検査」を同時に実施していましたが、「細胞診検査」※を中止し、「HPV検査」のみの提供とします。

申し込み方法や対象者についての変更はありません。

【対象者】 20歳から34歳までの被保険者および被扶養配偶者

詳細は健保組合ホームページの<がん検診補助・HPV郵送検診>をご参照ください。

クリック⇒



※自己採取の場合、検体採取率が低くガイドラインで推奨されていないため中止します。

### 3. 子宮頸がんワクチンの接種補助を増額

子宮頸がんワクチン接種補助額は、接種1回につき12,000円を3回までとしておりましたが、9価ワクチンに対応するため接種1回につき20,000円を3回までとします。

申し込み方法や対象者についての変更はありません。

【対象者】10歳以上の被保険者および被扶養者

詳細は健保組合ホームページの<予防接種補助>をご参照ください。

クリック⇒

予防接種補助



#### 【参考】 子宮頸がんは「HPVによる持続感染」が原因

子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染によって発生します。HPVは性交渉により感染するありふれたウイルスで、通常は感染しても免疫力で自然に排除されますが、約10%の人では感染が長期間持続します。このうち自然治癒しない一部の人は前がん病変を経て、数年以上をかけて子宮頸がんに進じます。HPVは100種類以上の型が存在することがわかっていますが、子宮頸がんに関係するHPVはハイリスク型HPVの中でも、HPV16型、18型が子宮頸がんに進展する可能性が高く、感染した後に悪化するスピードも速いといわれています。しかし子宮頸がんは検診によって予防や早期発見が可能ですので、定期的な検診がとても重要です。

本件に関するお問い合わせは健保組合 ([kenpo@ono-pharma.com](mailto:kenpo@ono-pharma.com)) までメールでお願いします。